



いのち 生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり

快拳！3人が全国制覇！！



札幌市で行われた第30回全国少年少女レスリング選手権大会で3人（Yu-Gaku 加茂スポーツクラブ）が優勝しました
（左上：小野正之助さん、右上：鳥目裕太さん、左下：小野こなみさん、右下：全国大会に出場した6人のみなさん）
（7月26日～28日、北海道立総合体育センター。関連記事8ページ）

9

2013
No.106

contents

- 2 雲南ニュース
- 8 ふるさとウォッチング
- 10 雲南病院だより
- 14 わが家のホープ ほか
- 15 こんにちは保健師です ほか
- 16 こげなことしとーます研究所うんなん ほか
- 17 特別支援教育 ほか
- 18 市役所からのお知らせ ほか
- 28 9月イベント情報

市 Public Relations
報

うんなん

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市



雲南ニューース



1 雲南市成人式 成人としての自覚を持ち、精進する

8月14日、三刀屋文化体育館アスバ
ルで平成25年度雲南市成人式が行われ、
363人（平成5年度生まれの新成人
441人）の新成人が出席し、人生の
節目に誓いを新たにしました。

式典で速水市長は、「みなさんは成
人式を迎えられ導かれる立場から導く
立場になられた。社会の一員としての
自覚を持ち選挙権の行使を果たし、地
域で若い力を発揮してほしい。また、



速水市長を囲んだ新成人のみなさん

大人の仲間入りをしたみなさんが力を
合わせ、雲南市発展のためにしっかり
努力してください。こうしたことに気
づいた人同志が繋がり支え合って、雲
南市、日本を前に進めていきましょ
う」とお祝いのことは新成人に贈りまし
た。



新成人を代表しあいさつする友塚さん

また、新成人を代表し木次町の友塚
暁さんが、「私もこれからは、雲南市
に育てられた一人の大人として地域の
宝を見守り、育てていきたい。家族や
先生、地域の方々に宝のように見守ら
れ、支えられて、成人することができ
た。この恩を一生忘れることなく、一
人ひとりが成人としての自覚を持ち、

精進していく」と誓いのことを述べ
ました。
新成人たちは、久しぶりに会った友
人と写真を撮ったり、近況を報告しあっ
たりしていました。



式典後、記念行事として
六子さんのコンサートが
行われました



新成人のみなさん



2 地域自主組織の取組みが第1回 プラチナ大賞の特別賞を受賞

日本が直面する人口減少と急激な
高齢化、環境問題等を乗り越え、世
界に先駆けて課題解決し、日本を再
生していくため、全国規模の連携組
織「プラチナ構想ネットワーク（小
宮山宏会長・株式会社 三菱総合研
究所 理事長、東京大学 総長顧問）」
により創設された第1回プラチナ大
賞において、雲南市の地域自主組織
の取組みが特別賞を受賞しました。
この賞には、全国から124団体

の応募がありました。が、雲南市は最
終選考9団体に選出され、7月25日
に都内で開催された最終審査では、
速水市長が自らスライドを使って発
表しました。受賞に至ったのは市民
の皆様、地域自主組織の皆様ととも
に歩んできたこれまでの取組みが全
国的に評価されたものです。「新し
い自治の取組みを注目したい」と多
くの方から励ましの声をいただきま
した。



最終審査で速水市長が発表しました



小宮山会長から表彰状を受け握手する速水市長

3 雲南市戦没者追悼式 世界の恒久平和を願って

7月18日、加茂文化ホールラメールで先の大戦において亡くなられた2,354柱の御霊を追悼するとともに、ご遺族の心の平安を願い、世界の恒久平和を祈念し、平成25年度雲南市戦没者追悼式が関係者400人の出席のもと行われました。



速水市長が追悼のこぼを贈りました

式典では、速水市長が「すべての人々が悲しみの歴史を繰り返さないとの決意をするともに、戦没者の皆様がかげがえない命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させるこ



「母の像に誓う」と題した講演をする工藤さん

となく次世代へ語り継ぎ、健康で心豊かな平和な社会を未来永劫に実現していくことが私たちに課せられた使命」と追悼のこぼを贈りました。

また、雲南市遺族会会長の影山忠夫さん、女性部を代表し藤村香予さんが、「私たち遺族が経験した苦しい体験を次の世代に確実に伝えていかなければならない。遺族も高齢化が進む中、遺族会もお互いが心を一つにして助け合い励まし合い、遺族の福祉の向上と御霊をお祀りする」と誓いを語られました。

式典後、遺族会主催により松江護国神社禰宜の工藤智恵さんによる講演会や「語り伝えたい！戦中戦後の暮らし展」が行われました。

5 雲南市男女共同参画都市宣言文が 答申されました

5月28日に速水市長から、雲南市男女共同参画推進委員会に対し「雲南市男女共同参画都市宣言文」の諮問をされ、同委員会では4回の審議を行い、市民の行動規範となるよう想いが込められた「都市宣言文」を策定し、8月6日、同委員会会長の吾郷康子さんから速水市長に答申書が手渡されました。速水市長は、「男女共同参画計画のサブテーマである「気づいて築く 雲南市」は、まちづくりの基本と考えられる。雲南市の歴史や先人たちの想いなどが現在の男女共同参画のベースとなっている。今回の都市宣言は単なる通過点ではない。市民一人ひとりの胸に刻みこんでいけるような内容とした」とお礼のこぼを述べました。



吾郷会長から速水市長に答申書が手渡されました

吾郷さんは、「この委員会で過去に男女共同参画10カ条市民宣言も策定し、市民の皆さんに実践していただいた。7年が経過し、時代背景や実態に合う宣言に練り直さなければいけない気持ちがあった。委員同士が議論を重ね一字一句練り上げ、想いを積み上げ策定した。数年で、実践できるような事柄ではないが、しっかりと腰を据えて向き合っていくもの。この宣言をきっかけに性別に関わりなく様々な分野で、自分らしく活躍していただきたい。都市宣言は市を挙げて、市民全員が関われる、参画できるような仕組みづくりをしていただきたい」と想いを語られました。

今後は、11月30日開催予定の「雲南市男女共同参画都市宣言式典」で市民宣言を実施し、市民のみなさんに宣言文を配布し周知を図る予定です。

4 第57回島根県消防操法大会 安全、迅速、確実な操法を披露

8月4日、江津市中央公園多目的広場で行われた第57回島根県消防操法大会に島根県内の消防団からポンプ車の部に9チーム、小型ポンプの部に18チームが参加しました。



ポンプ車の部に出場した三刀屋方面隊の消防操法

雲南市消防団からは、三刀屋方面隊がポンプ車の部に、大東方面隊及び木次方面隊が小型ポンプの部に出場しました。

成績は、小型ポンプの部では木次方面隊斐伊分団が5位に入賞し、大東方面隊大東分団は17位でした。また、ポンプ車の部では、三刀屋方面隊自動車



小型ポンプの部に出場した木次方面隊の消防操法

分団が4位入賞という結果でした。この消防操法は、消防団員が火災現場などの消防活動に必要な不可欠なもので、消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与するために行われています。出場された各方面隊の消防団員のみならず、春先から連日連夜の練習を積み重ねられ、練習の成果を十二分に発揮されました。団員のみならず、本当にお疲れ様でした。

6 東京、近畿でふるさと会が 開催されました

7月13日、雲南市東京ふるさと会の第4回交流会が東京都内のアルディア市ヶ谷で開かれ、会員や雲南市の関係者など約100人が参加しました。

会場では、懐かしい思い出話やマスコミ等で知ることが出来る最近のふるさとの様子などの話に花が咲いていました。

参加者からは遠く離れていてなかなか帰りにくいけれど応援していますとの声もありました。



東京ふるさと会交流会の様子

また7月14日には、2年に一度の雲南市近畿ふるさと会の第4回総会が大阪市内の大園園で開かれ、会員や雲南市の関係者など約300人が参加しました。

会長の須山篤志さんが総会のあいさつで、ぜひ近畿から雲南市を応援したいとの話もありました。

会場では、市内から7業者が参加してふるさとの物産販売をしたほか、三刀屋太鼓の勇壮な楽曲の演奏も行われ会場は大いに賑わいました。



近畿ふるさと会総会であいさつされる須山会長

逆風にも負けぬ
まちづくりを

7月13日(土)に第4回東京ふるさと会が、14日(日)には第4回近畿ふるさと会が開催されました。いずれも大盛況で、雲南市への力強いエールを送っていただき、また、多くのふるさと納税もいただきました。

その際、近畿三刀屋会の前会長の奥野菊江様から、木製の帆船模型を雲南市に寄贈したいとの申し出をいただき、程なく届きました。

それは、なんと1860年、勝海舟を艦長として日本人69人、アメリカ人10人で、日本史上初めて太平洋を横断した咸臨丸の模型でした。船首から船尾まで90cm、幅12cm、マストの高さ55cmと、奥野礼三様・菊江様ご夫妻製作の素晴らしい出来栄えの大作・力作でした。お二人で経営される奥野帆船工芸は創業から35年、手作業で年間100隻を作り上げておられ、日本で木製の帆船を作っている最後の1社とのことです。

逆風が吹いても前に進む帆船のように、雲南市も頑張れとの力強いメッセージをいただきました。

帆船には、雲南市の市旗がはためき、6つの町からなる雲南市を表す6人の船員が乗っています。



奥野さんから寄贈された咸臨丸の模型



台湾のお客様に商品を勧める速水市長

9 台湾で物産の販路拡大とPR

7月11日から24日までの14日間、

台湾高雄市の大立百貨店で、「日本フェアIN台湾」が開催されました。このフェアへは、市内の農産加工品や特産品を販売する事業者の海外輸出へのニーズが高まっているため、雲南市からも販路の拡大と、市のPRをかねて出展しました。フェアでは、市内11事業者の米、スパイス商品、そば、アイスクリームなど49品目を展出し、7月11日のオープン初日には、速水市長も参加し、率先して試食や商品PRをしながら、安心・安全な商品を販売し、台湾のお客様に大変好評を得ていました。



着任し太田教育委員長、土江教育長と記念撮影するジェーンさん(中央左)とチェルシーさん(中央右)

10 外国語指導助手が着任しました

7月に退任された外国語指導助手の後任に、新たに2人の外国語指導助手が着任され、8月12日に着任式が行われました。新たに着任されたのは、ジェーン・シエルトンさんとチェルシー・キナンさんです。二人とも、アメリカ合衆国出身です。今後、ジェーンさんは木次中学校を拠点とし、木次小学校、斐伊小学校、寺領小学校、西日登小学校、温泉小学校、田井小学校の指導を、またチェルシーさんは、大東中学校を拠点とし、大東小学校、西小学校、佐世小学校、阿用小学校、久野小学校の指導を担当されます。皆さんも是非気軽に声をかけてください。

8 日韓の架け橋となって 韓国清道郡と相互交流

平成23年度に韓国慶尚北道清道郡と青少年相互交流事業を始め、今年度が2回目となる交流事業が、7月26日から30日の5日間行われ、清道郡から10人の中学生が雲南市を訪れました。訪問した学生たちは、海潮中学校で神楽部の神楽を鑑賞し、生徒たちと一緒にそば打ちをし、また、吉田中学校の生徒たちともヤマメ釣

りをして交流を深めていきました。また、永井隆記念館や奥出雲葡萄園などを見学したり、道の駅たたらば吉番地で買い物したり、またホームステイの受け入れ家族とも交流し雲南市での生活を満喫していました。次に8月9日から13日までの5日間、市内の中高生7人が韓国清道郡を訪れ、ワイントンネル、闘牛競技場、セマウ



ワイントンネルを見学しました



清道郡のイ・ジュングン郡守さんを表敬訪問し記念撮影

7 国際交流員着任 新たな国際交流員、頑張つて



速水市長から辞令書を手渡されるダニエルさん

8月1日、新たに国際交流員としてアメリカ・インディアナ州のブルームントン市出身のダニエル・ジェームス・プロドリックさんが着任し、市役所で速水市長から辞令が交付されました。速水市長は、「雲南市は、素晴らしい歴史、自然、人、そしておいしい食材がある。こうした雲南市ならではの地域資源をしっかりと体で感じて、多くの体験をし、雲南市を好きになってほしい」と歓迎のことばを贈りました。ダニエルさんは、「雲南市に来られて光栄です。これから国際交流員として役に立ちたい」と抱負を語っていました。これから、学校、地域に出かけますので、気軽に声をかけてください。



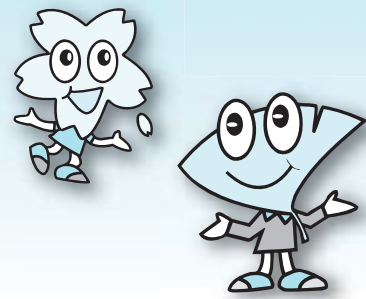
速水市長が清道郡の学生たちにお土産を贈りました



闘牛競技場を見学しました

ル運動発祥地の記念公園を見学し、また、伝統工芸づくり、韓国の中学校でチャサン農楽公演観覧やクライミング

グ、ゴルフを韓国の学生たちと一緒に楽しみました。また、7月に雲南市を訪れた学生とも再会し、楽しく韓国文化を学び交流を深めています。



ふるさとウォッチング



7/23

尾原ダム・さくらおろち湖周辺の環境保全活動をしました

「森と湖に親しむ旬間」(毎年7月21日～31日)「イベント」として、尾原ダム・さくらおろち湖周辺の環境保全活動が行われ、総勢74人(15企業、地元2団体、NPO2団体、関係行政機関)の多くのみなさんにご協力をいただき、さくらおろち湖周辺が大変きれいな景観となりました。



環境美化活動に参加されたみなさん

当日は炎天下のなか、この取組みに企業CSR活動として多くの企業のみならず、地元及び関係行政機関から多くの参加をいただきました。暑い中、本当にお疲れ様でした。今後もさくらおろち湖周辺の環境美化活動への取り組みを継続していきたいと思っておりますので、ご支援ご協力いただきありがとうございます。

7/27～28

山陽方面の女性が雲南地域を満喫

雲南地域を観光する女性限定のモニターツアー「おくいずも女子旅」が行われました。ツアーを企画したのは、雲南地域の商工会・行政・JAの女性職員で組織する「おくいずも女子旅つくる委員会」。JR広島駅(広島市)を発着点に、山陽方面在住の女性19人が参加し、「湧きあがれ美人力 美人旅 チャージ旅」をテーマに自然の癒し効果を体感してもらえる場所を中心に計9カ所をバスでめぐりました。市内では「木の花工房」(木次町)での桜染め体験や「かやぶき」(木次町)での田舎料理バイキングを満喫。参加した女性は「日ごろの疲れを癒された」と満足した様子でした。



「かやぶき」での田舎料理を満喫しました

企画した委員会では、女性向け観光情報誌「Okunatabi」第2号の発行を8月下旬に予定しています。3万部限定で、市内道の駅や山陽方面のサイブスエリア・道の駅を中心に配布します。

7/26～28

快挙！レスリング全国大会で優勝

北海道立総合体育センター(札幌市)で行われた第30回全国少年少女レスリング選手権大会にYu-Gaku加茂スपोर्टクラブのレスリング教室から6人の子供たちが出場し、28kg級の鳥目裕太さん(加茂小4年)、24kg級の小野正之助さん(松江市・内中原小4年)、20kg級の小野こなみさん(松江市・内中原小1年)の3人が見事に優勝しました。

8月7日、鳥目さんと小野こなみさんが優勝の報告に雲南市役所を訪れました。鳥目さんは、「来年までに悪かったところを直して、来年の全国大会でも優勝したい」と次の目標を語りました。

(表紙に写真掲載)



鳥目裕太さん、小野こなみさんが速水市長へ優勝報告をしました

7/27～29

再出発！ソフトクラブチーム「DAN・DAN」準優勝！

本年3月末に島根三洋電機ソフトボール部が休部したことにより、新たにクラブチームとして再結成した「DAN・DAN」チームが、北海道石狩市のはまなす国体記念石狩市スポーツ広場で行われた第34回全日本クラブ女子ソフトボール選手権大会に初出場しました。決勝戦では、相手チームを上回る安打を打ちながらも、チャンスを

生かせず惜敗しましたが、見事準優勝しました。8月1日からは、大菅真理子監督と舟木千恵選手と島根県ソフトボール協会 郷原健一郎理事長が準優勝の報告に雲南市役所を訪れました。舟木選手は、「次の目標は、8月に行われる国体予選を突破し、本国体に出場すること」と語っておられました。



大菅監督、舟木選手が土江教育長へ準優勝報告をしました

7/28

さくらおろち湖周辺でトライアスロン練習

「森と湖に親しむ旬間」に併せ、さくらおろち湖周辺で「トライアスロン練習会」が開催されました。

当日は市内外より28人の参加があり、スィム、バイク、

ランをそれぞれの種目毎に講習会形式による練習(スィム・さくらおろち湖を500m×1000m、バイク・さくらおろち湖周辺を5周、ラン・4km×5km)をし、さわやかな汗を流していました。9月23日にも練習会が開催されますので、興味のある方は是非挑戦してみてください。



ダム湖堤体上をバイクで走りました



スィムの練習の中、シーカヤック体験も行われました

8/4

みんなの憧れ 鳥根スサノオマジック選手のバスケットボール教室

プロバスケットボールbjリーグで活躍する鳥根スサノオマジックの波多野和也選手と末松勇人コーチを招き、三刀屋文化体育館アスパルで親子バスケットボール教室が行われ、親子30人が指導を受けました。波多野選手や末松コーチから基本的なドリブルやパスの仕方などを教えてもらい、親子でゲームやフリースロー大会をした後、波多野選手と写真を撮ったり、サ

インをもらったりして、間近でプロ選手と直接触れ合っことができて喜んでいました。

Yu-Gaku加茂スपोर्टクラブでは、今年度からトップアスリートなど優れた人材を活用し、地域スポーツとトップスポーツの好循環を実現するために、子どもたちを対象にスポーツ教室に取り組んでいます。今後はソフトボール教室やサッカー教室を行う予定です。



波多野選手と一緒に記念撮影する教室に参加した子どもたち

雲南市立病院ボランティアの会「てごっ人」活動報告

平成21年5月の発足時は17人でスタートしたこの会は、本年7月現在では42人にもなりました。50～60代を中心とした会ですが、最近は30代の若手メンバーも入会され、ますます活発な活動を行っています。

さて、今回は月1回の定期美化作業の紹介を致します。

2月



手すりと長いすの補修を行いました。
洗剤を使用し椅子の落書きなどを落ちるまで拭いていただいたり、手すりのネジの緩みを締め直していただきました。
見違えるようにきれいになりました。

3月



車椅子の清掃・補修を行いました。
車椅子は4～5人で院内全ての補修・点検をしていただきました。点検後は軋みも無くなり動きがスムーズで患者さまが使いやすくなりました。

4月



網戸の張替を行いました。
病棟の傷んだ網戸19枚の張替作業をしていただきました。最初は網の貼り方も手馴れないようでしたが、数枚作業をした後はピンと張った素晴らしい網戸が出来上がりました。

5月



院内・桜山の草刈りを行いました。
病院周辺に、生い茂っていた草をすべて刈っていただきました。またデコボコだった生垣も綺麗に刈ってもらい、スッキリとした形になりました。

6月



組合コース部の組合員と美化作業を行いました。
美化作業の草刈り、長椅子の清掃、浴室の清掃をしていただきました。(写真は浴室清掃の様子)
作業終了後は昼食会を兼ねて意見交換会をして親睦を深めました。

7月



院内の溝掃除を行いました。
雨降り後の作業で、かなりの砂泥がありました。すべて取り除くことが出来て流れもスムーズになりました。

★歯科口腔外科 開設しました★

平成25年8月1日より「歯科口腔外科」を開設いたしました。歯科口腔外科では、入院中のがん患者さま及び周術期の患者さまの口腔ケアを行います。

担当医師：吉野 綾 医師 (掛合診療所より派遣)



▲アンサンブルによる演奏

8月2日に当院で七夕コンサートを開催しました。職員有志による音楽友の会「South Cloud Ensemble」(サウスクラウド アンサンブル)の主催で行われ、入院中の患者さまなど約130人が参加しました。
オープニングは、「ありがとう」の合唱でスタートし、その後、クラリネット・ホルン・ファゴット・フルートのアンサンブル

による「川の流れるように」、「星のフラメンコ」の演奏があり、次に「花は咲く」の歌を披露しました。その後合唱に移り、「七夕さま」や「ふるさと」などを会場のみなさんと一緒に歌い楽しいひと時となりました。最後に、島根大学医学部地域域・緊急医師確保推進入試受験予定者の松江南高校・常総学院の生徒4人が急遽自発的にステージに上がり、会場のアンコールに応えて歌うというサプライズがありました。

コンサートを聴きにいられた患者さまからは、「心に響きとても穏やかになりました。明日からまた頑張りたいと思います」、「久しぶりに声を出して歌えて良かったです」などの感想があり、大盛況でした。



▲会場のみなさんと一緒に合唱

病院ボランティアの会、地元大東高校生、医師志望の高校生のみなさんにも協力していただきました

病院ボランティアの会、地元大東高校家庭クラブのみなさんには、七夕コンサートのステージ設営、病院正面の大笹の設営やスイカちょうちんの飾り付けをしていただきました。

また、七夕コンサートでは、入院患者さまを会場まで車椅子で介助するお手伝いをしていただいたり、ステージと一緒に合唱し、盛り上げていただきました。



▲大笹の飾り付け



▲七夕の準備をしてくださったみなさん

第3回 病院祭開催決定！！

今年も病院祭を開催します。

開催日時 9月28日(土)
10:00～15:30
会場 雲南市立病院

内容

基調講演、コンサート、安来節ショー、体験コーナー、展示コーナー、各種販売コーナー など

健診フォローアップ教室 開催!!

- ①各種検査 (身体計測・血圧測定・血液検査)
- ②ピラティス (無理せずインナーマッスルを鍛える効果的な運動)
- ③おいしい♡健康食ランチ

♪開催日時♪

9月29日(日)
13:00~16:30
4階大会議室

要予約

予約〆切り
9月10日(火)

雲南市立病院 保健推進課
☎0854-43-3602

夏季高校生医療現場体験セミナー

7月30日に県内の高校生を対象とした医療現場体験セミナーを開催しました。雲南市内の高校を中心(6校19人)に医師、看護師、検査技師などをめざす学生が参加し一日体験を行いました。

看護師志望の学生は各病棟に分かれ、血圧測定体験や実際に患者さまと会話をしながら手足の洗浄やひげそりなど看護の基礎となる体験を行いました。患者さまからは「とても気持ちいい」、「ありがたい」と大変喜んでいただきました。検査技師など医療技術職志望の学生は、検査科でエコーや痰を顕微鏡で覗く体験、放射線科でMRIやCTなどの説明や見学をしました。薬剤科では実際に塩を使っての調剤作業を、リハビリテーション科ではクリップ箸という道具を使用し非利き手で所作を行う体験をしました。

また、体験終了後に院長をはじめ看護師、検査技師などの意見交換会を行い、学生からは志望する職種について詳しい質問をしたり体験談などを話し盛り上がりました。セミナーの最後には体験した学生それぞれに対し修了証を交付しました。

体験をした学生からは「今までなかなか夢が定まらなかったが将来に向けて大きく前進した」、「いろいろな職種のがわかって良かった」、「職員の感想や将来、ここで働きたいと強く思った」、「職員同士のチームワークが印象に残った」など、当院にとってもうれしい感想もいただきました。

この体験セミナーを通し、進路の参考にしてもうひとつに、当院を含め地域医療に貢献していただく学生の皆さんが増えてくれることを期待します。

「雲南市立病院フェイスブック」開設しました!

雲南市立病院では、取組活動やイベント等の情報のほか、採用情報などを積極的に発信し、効果的な広報活動を行うため、雲南市立病院Facebookページを開設しました。

アドレス
<http://www.facebook.com/unnan.city.hospital>
(雲南市立病院ホームページ<http://unnan-hp.jp/>からも入ることができます。)



院内サロンふれ愛♡

9月・10月の開催日:

9月13日(金)・27日(金)

10月11日(金)・25日(金)

時間: 午後1時30分から3時30分
場所: 雲南市立病院 南棟2階 ドック検診室

お気軽にお越しください。

問い合わせ先:
健康管理センター保健推進課 ☎0854-43-3602

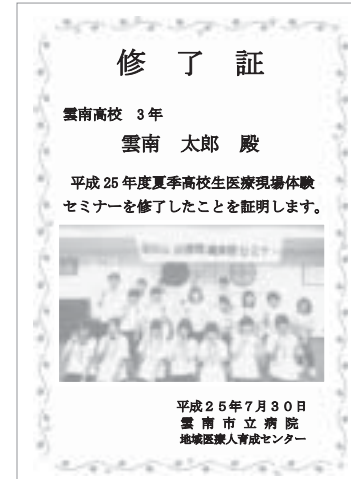
展示コーナーのご紹介



大東幼稚園



院内保育所「ほたるキッズ」



▲修了証 (見本)



▲クリップ箸でのリハビリ体験



▲ひげそり体験



▲手の洗浄体験

病院建設の設計共同企業体が決定しました

雲南市立病院では、病院建設にとってふさわしい設計者を選定するため、公募型プロポーザルを実施し、最優秀に選定された梓設計・ナック建築事務所設計共同企業体と業務委託契約を締結しました。

選定は、雲南市立病院建設設計候補者選定委員会(島根県立大学名誉教授 福澤 陽一郎委員長)により、技術提案をされた5社のプレゼンテーションと5社へのヒアリングが実施され、慎重に審議され、慎重に審議され決定しました。

この決定を受けて、今年度基本設計に着手しますが、当院の基本理念である「地域に親しまれ、信頼され、愛される病院」となるべく、設計業務を進めてまいります。



▲6月28日 市長へ福澤委員長から審査結果を報告 : 市庁舎応接室

【審査結果】
最優秀設計共同企業体… 梓設計・ナック建築事務所設計共同企業体
優秀設計共同企業体… 佐藤総合計画・坂本建築事務所設計共同企業体



わが家のHOPE



9月で満1歳
おめでとう

藤原宏哲さん・恵梨さんのお子さん



りゅうのすけ
隆乃介ちゃん (掛合町掛合)
平成24年9月13日生まれ
一歳のお誕生日おめでとう☆
これからも笑顔のステキなりゅうちゃんいてね。大好きだよ♡

高橋辰徳さん・智子さんのお子さん



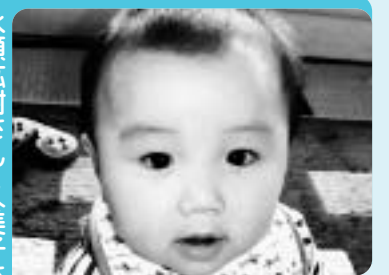
りょうすけ
良輔ちゃん (三刀屋町高窪)
平成24年9月9日生まれ
1歳の誕生日おめでとう☆
みんな良ちゃんのこと大好きだよ♡
元気にすくすく育ってね♡

渡部真一さん・望さんのお子さん



ひまり
陽菜里ちゃん (三刀屋町古城)
平成24年9月7日生まれ
1歳のお誕生日おめでとう☆
いつも満面の笑顔がありがとう☆
元気にすくすく育ってね♡

永瀬紘樹さん・久美子さんのお子さん



あやと
綾斗ちゃん (加茂町加茂中)
平成24年9月6日生まれ
1歳おめでとう♡
あやとの笑顔にいつも癒されてるよ。
元気にすくすく育ってね♡

10月で満1歳(平成24年10月生まれ)のお子さんを募集!

写真に下の6項目の内容を添え、郵便またはE-Mailで
9月10日(火)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015

- ①お子さんの名前(ふりがな) ②お子さんの誕生日 ③ご両親の名前(ふりがな) ④住所 ⑤電話番号 ⑥コメント(40字程度)

郵送される場合のあて先
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
雲南市役所情報政策課
「わが家のホープ」係

E-Mailを送られる場合のあて先
jyouhouseisaku@ci.ty.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のホープ」として
ください。)

※市ホームページにも市報うんなんを掲載します。
※お送りいただく個人情報は「わが家のホープ」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。
投稿後、当課からの電話がないときはお問い合わせください。



近年、全国における自死者数は年間3万人を超え、島根県は全国の中でも自死率が高く、年間2000人を超える方が亡くなっておられます。これは交通事故死亡者のおよそ5倍です。雲南市では平成21年から、関係機関と連携し地域で総合的に自死防止に取り組むため、「自死防止総合対策検討委員会」を立ち上げました。暮らしやすいまちづくりが自死防止に繋がるとして、普及啓発(イベント、広報活動、シンポジウム)、人材育成(※ゲートキーパー養成研修、健康教育)など、地域ぐるみで様々な活動を推進しています。

雲南市の自死総合対策について



「自死」という言葉の使用について

今まで「自殺」という言葉が広く社会に定着し使用されていきましたが、「殺」という文字のもつイメージは、故人や遺族に対する差別や偏見に繋がる場合もあります。自ら命を絶つことは、一生懸命生きよつとした結果、どうすることもできない状況に追い詰められた末に発生したことが連想され、「自死」は遺族の心情に寄り添った言葉として、近年多くの場面で使われるようになりました。島根県と雲南市は、平成25年度から、公文書、広報、啓発資料などは「自死」を基本とし、固有名称や統計用語、法令や法律等で用いられているものに関しては「自殺」を用いることとし、2つの言葉を状況に応じて使用する(こと)になりました。



～こころの健康相談～

自死予防週間【9月10日(火)～16日(月)】にあわせて、相談窓口を開設し、保健師が対応します。「眠れない」「とても憂うつだ」など心身の不調や、こころの健康についての困りごとをどうぞご相談ください。

相談窓口：雲南市役所 健康推進課
(☎0854-40-1045)



現代社会はストレスの多い社会であり、誰もが心の健康を損なう可能性があります。誰もが人生の様々な場面で自死に追い込まれる危機に遭遇する可能性があることを認識し、自らや周りの人の心の不調に気づき、見守り、支えあうことを意識することが重要です。

※ゲートキーパー：自死の危険を示すサインに気づき、適切な対応を行う、専門機関へつなぐ役割を担う人のこと。「命の門番」とも言われる。



島根県消費者センター
マスコットキャラクター
たまさけないゾウくん

くらしの消費生活窓口

ご相談は 雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123

私は大丈夫!と聞いていませんか?

悪質業者は言葉巧みに勧誘します。

突然見知らぬ業者が訪問し、「屋根の点検をしてあげる。」とか「排水管の無料点検に来た。」などと言って親切を装い近づき、「このままでは大変なことになる。」と不安をあおり、すぐに契約を迫ります。



販売目的を隠して、消費者に近づき、思わぬ高額な契約を迫ります。
高額な商品売るために **親切に接したり、無料点検** を装う場合があります。

点検商法

ここが問題!!

撃退法 むやみに業者を家に入れない。
不要ならばきっぱり断りましょう。
その場で契約しないで、誰かに相談しましょう。



日本一短い

感謝の手紙

33

◇今回は家族への手紙を紹介します。

お父さん、お母さんへ
いつも、お仕事がんばってくれてありがとう。これからも、お仕事ががんばってね!これからもよろしくね。
娘より

娘へ
兄弟三人の中で一番小さく産まれたのに、今では家族の中で一番大きくなりました。産まれてきてくれてありがとう。
父・母より

お父さんへ
毎日、キャッチボールの捕り方を教えてくれてありがとう。これからも打ち方など教えてください。
息子より

息子へ
野球が大好きなあなた。五年後、十年後もあなたと一緒に野球が出来るようにお父さんもがんばるよ。
お父さんより

お母さんへ
いつもおそくまで仕事をしているのに、ご飯を作ってくれてありがとう。いつても手伝うからがんばってね。
娘より

娘へ
どういたしまして。あなたのその気持ちがお母さんは嬉しいです。お母さんのパワーの源は、あなたの笑顔です。
母より



特別支援教育



特別支援学級について勉強しようかな？

特別支援学級には知的障がい、自閉症・情緒障がい、病弱・身体虚弱、肢体不自由、難聴、弱視、言語障がいの学級があります。そこでは一人一人にあった内容、速さで学習を行い、自信をもって生き生きと学校生活を送ることができま

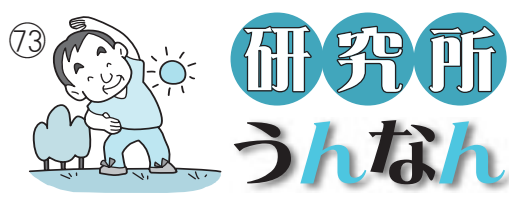
ます。例えば知的障がいの特別支援学級では、朝の会は、からだこころのリズムを整えて学校の一日をスタートさせるために、時間をかけてゆっくり進めていきます。あいさつや健康観察の後、詩の音読、歌、目や体の体操、スピーチ、花の水やり、縄跳び、ランニング、ボールを使った運動などの中からいくつか選んで行います。

国語や算数もその子に合ったメニューを決めて取り組めます。3〜4個のメニューを毎回決めて子どもたち一人一人にメニューカードを渡しています。例えばある日の国語のメニュー：①音読 ②漢字 ③かるた ④お話ノート 音読はみんな同じ詩やお話を読みます。漢字はその子にあったペーパーを進めます。かるたは漢字カード、ことわざかるた、反対言葉カードなどから選んで取り組みます。みんな違っていいよに楽しむとき、一人一人違うカードに取り組みと

きがあります。お話ノートは、短い日記で文章を書く練習です。メニューの1つが終わるとカードにスタンプを押して次のメニューに進みます。そして最後にこぼつ

入賞作品決定!
研究所員で厳正な審査を行い、作品総数65作品の中から、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定いたしました。その入賞作品をご紹介します。

こげなこしとーます



このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします!

チャレンジデーフォトコンテスト

雲南市では、毎年5月の最終水曜日に住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」を開催しています。これは、1日15分の運動やスポーツをした住民の『参加率(%)』を他の市町村と競い、敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインポータルに掲揚し相手の健闘を称えるというものです。

～優秀賞～

(大東町在住 30歳代男性)



少女と、赤ちゃんを背負った母親が微笑み合っている姿が家族の温かさが伝わってくる作品でした。

～優秀賞～

(木次町在住 30歳代女性)



雲南市の豊かな自然の中で、小さな子どもが楽しそうに歩いている姿を温かく見守っているような作品でした。

～最優秀賞～

(三刀屋町在住 40歳代男性)



地域の様々な年代の方が一緒に体を動かしている様子から、チャレンジデーが定着していることが伝わる一枚です。また、体を動かしている様子として、井隆博士の言葉とのコントラストが印象的です。体操を通じた「地域の絆」と、「平和への願い」というメッセージが伝わってくる素敵な作品だと感じました。

フォトコンテストに応募された方には参加賞や記念品をお贈りしました。たくさんのご応募ありがとうございました。
身体教育医学研究所うんなん
☎0854-4510300

のシールを貼ります。算数もみんなできように取り組み、その子にあったペースで取り組むことを組み合わせたメニューで学習を進めています。メニューカードは、学習に見通しをもって取り組むための1つの方法です。

漢字や計算の学習は繰り返しが大切なので毎日行いますが、より生活に必要な学習内容を生活に密着した学習の中で学んでいくことができますようにしています。調理学習や栽培学習はそういった学習にとっても合っていて、しかも子どもたちが大好きな学習で意欲的に取り組むことができるので、定期的にを行うようにしています。栽培活動で収穫した野菜を調理活動で使ったり、調理活動の発展でレストランなどを開いたりすることもできます。これは生活単元学習といつて、教科等を含ませた学習の形で、数やお金の学習、ことばやコミュニケーションの学習などを織り込んで展開していくことができます。

もちろん、特別支援学級の中で個別の学習だけしているわけではありませぬ。通常の学級の児童・生徒と各教科や学級活動、学校行事などをいっしょに行うなど、それぞれの子どもに合わせた学びの形で学習を進めていくことができるのが、特別支援学級です。

大東小学校 特別支援学級担当
堀江美穂子

Hello Everyone うん、なんでしよう

国際交流員(CIR)の迷言コーナー



こんにちは、ダニエルです。

はじめまして！アメリカのインディアナ州から参りました、ダニエル・プロドリックと申します。8月1日に来日して、雲南市役所で国際交流員を勤めさせていただくことになりました。この大自然に恵まれている市に到着して公務員になれることは私にとって大変光栄なことだと感じており、雲南市の皆さんのために一生懸命頑張っていきたいと思っております。私が生まれたインディアナ州マンシー市の人口は、雲南市の人口と比べると大きく変わりはないのですが、あらゆる点において正反対の市です。インディアナ州の風景は、山はなく、平原と畑が多く、トウモロコシと大豆で知られています。植物、動物、感覚のすべてが雲南市と異なります。

少し私について紹介させていただきます。16歳の時から日本語は美しく、とてもユニークな言葉だ

と思うようになり、精いっぱい勉強して日本で働くことに決めました。それから6年後、大学を卒業して4回目の来日で仕事をしに来られましたので、言葉で伝えられないほど嬉しいです。趣味はいろいろありますが、特に楽しいのはピアノを弾くことです。ピアノは9歳からレッスンを受け、大学に入ることをきっかけに辞めざるを得なくなりましたが、自分の時間に久石 譲さんの曲やゲームからのピアノアレンジされた曲を楽しく弾いています。いつか機会があれば聴いてください!

今後、たくさんの触れ合えるチャンスがあると思います。道ですれ違ったり、お店で出会ったりしたらぜひ声を掛けてください！皆さんとお話できることを非常に楽しみにしております！

よろしくお祈りします!



インディアナ州マンシー市にあるボールステート大学の有名なベルタワー

いじめ防止対策推進法が成立しました!

6月の国会において、「いじめ防止対策推進法」が成立しました。この法律は、いじめによる子どもへの死を重く受け止め、学校における問題とだけとらえるのではなく、社会全体でいじめを防止し子どもたちの健やかな育成を図ろうというものです。

これまでもいじめを起こさない学校づくりとして、「子どもの居場所のある学級づくり」や「子どもたちの絆づくり」、安全で安心して学校に通い生活がより充実するような「魅力ある学校づくり」に取り組んできました。また、家庭や地域の皆様にも子どもたちの見守りや指導・ご協力をお願いしてきました。このようにして、雲南市でもいじめの未然防止を図っているところです。

この度の法案の成立を受け、これまで以上に、いじめ問題を克服することをめざして、学校、家庭、地域教育委員会が力を合わせ、雲南市のすべての子どもたちの健やかな成長に尽力しなければならぬと考えております。

雲南市教育委員会では、いじめの

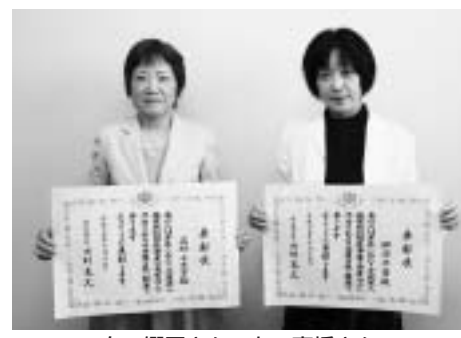




市役所からのお知らせ

表彰状
おめでとうございます

◎介護老人保健施設事業功労者厚生労働大臣表彰
郷原 早苗さん(木次町)
高橋千恵子さん(加茂町)
長年にわたり、介護老人保健施設関係事業の発展向上に貢献し、老人保健福祉行政の推進に顕著な功績により



右：郷原さん、左：高橋さん

ありがとうございます
ありがとうございました

雲南市及び市関係施設に次のご寄附をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

◎加茂中学校(寄附金)
加茂遊学倶楽部(加茂町)
◎ふるさと納税
大谷光正さん(奈良県橿原市)
周藤高明さん(大阪府大阪市)
遠藤祥子さん(神奈川県横浜市)

社会保険労務士
によるねんきん相談会

市民環境生活課
☎0854-40-1031

日本年金機構松江年金事務所では、市民の皆様のご利用を図るため、島根社会保険労務士会の協力により、ねんきん定期便・特別便の臨時相談を実施します。たくさんのご来場をお待ちしています。
相談には、ねんきん定期便等をお持ちください。
代理人の場合は委任状が必要です。

【相談日】
9月18日(水)
9月18日(水)
三刀屋交流センター
11月20日(水)
木次総合センター
※時間は、いずれも午前10時から午後3時30分までです。

終戦当時の引揚者・その家族の皆様へ

市民環境生活課
☎0854-40-1031
税関ではお預かりしている通関・証券などをお返ししています。返還の申し出は、ご本人またはご家族の方でもできます。

●終戦後、外地から引き上げてこられた方が、上陸港の税関、海運局に預けられた通関・証券など
●外地の終結地において総領

しまね東部若者サポートステーション
雲南出張相談会

産業推進課
☎0854-40-1052
しまね東部若者サポートステーション

【詳しい問い合わせ先】
境関支署
(境港港湾合同庁舎内)
☎0859-42-2228

事館、日本人自治会などに預けられた通関・証券などのうち日本に帰還されたもの

雲南市水道事業に関する審議会委員の紹介

雲南市水道事業に関する審議会委員の任期満了に伴い、新たに次の方が委員に選任されました。今後、市における上水道事業及び簡易水道事業に関する重要事項について審議いただくこととなります。任期は、平成25年8月1日から平成27年7月31日までの2年間です。(敬称略)

選任理由	氏名	住所
上水道加入者	安部 幸治	大東町
	永井 尚二	大東町
	高橋 美智子	加茂町
	渡部 弘明	加茂町
簡易水道加入者	馬場 重弘	木次町
	入澤 広子	三刀屋町
	加本 惇二	大東町
	江角 一津枝	木次町
識見を有する者	太田 明美	三刀屋町
	西村 忠利	吉田町
	和田 泉男	三刀屋町

【問】水道局総務課 ☎0854-42-3473

下水道への接続を!

下水道局下水道課
☎0854-42-3471
下水道に接続することで、汚水が浄化され、河川や海がきれいになります。美しい自然環境を守り、より豊かな生活環境を築くため、積極的に下水道に接続しましょう。

県営住宅(新築)の入居者募集

業務管理課
☎0854-40-1061

募集団地
県営そら山団地(木次町)
2DK..4戸
3DK..8戸
※家賃等については、お問い合わせください。

【応募受付期間】
9月13日(金)～
9月30日(月) 午後5時必着
【抽選】
10月下旬
【入居予定】
11月中旬
【申込(問い合わせ)先】
島根県住宅供給公社 松江住宅管理事務所
☎0852-22-3400

災害時要援護者登録状況

健康福祉総務課
☎0854-40-1041
雲南市では「だんだんと地域に広がる共助の輪」を合言葉に、災害時要援護者避難支援計画を策定しています。平成22年度から災害時に適切な支援が行えるよう、災害時要援護者台帳を作成し、名簿を関係者、関係機関へ情報提供しています。

平成25年7月現在の登録者数は、次表のとおりです。
なお、新規申込み、登録者変更申請等は、最寄りの総合センター保健福祉課、または市役所健康福祉総務課へ、お問い合わせください。

町	平成23年	平成24年	平成25年
大東町	203人	188人	180人
加茂町	50人	39人	36人
木次町	299人	285人	267人
三刀屋町	180人	176人	161人
吉田町	66人	69人	68人
掛合町	109人	129人	123人
合計	907人	886人	835人

テーションでは、働くことに悩みを抱える若年者の自立に向けて、心理カウンセリングやキャリアアカウンティングなどを実施します。
ご本人はもちろん、保護者やご家族の方、関係機関の方々からのご相談もお受けします。相談は無料ですが、事前予約が必要です。

【日時・場所】
9月25日(水)
一部 午前9時～正午
ハローワーク雲南
二部 午後1時～午後3時
雲南市勤労青少年ホーム
(毎月の第4水曜日開催)
【対象者】
15歳～概ね40歳まで
【問い合わせ】
しまね東部若者サポートステーション(サポステ松江)
☎0852-33-7710

9月の古紙回収

市民環境生活課
☎0854-40-1033
ゴミを減らし、限りある資源を大切にしましょう。リサイクルにご協力ください。
【回収品目】
古紙(ダンボール・雑誌類・新聞紙・広告チラシ)

回収品目以外の持ち出しは不法投棄となりますのでご注意ください。
●品目ごとに紐でくくる
●一絡みは10kg以内
●持ち出しは当日のみ
吉田町、掛合町の古紙回収は今までどおりです。

町	持ち出し日	持ち出し場所
大東町	9月15日 第3日曜	大東町体育文化センター、春殖交流センター、駅前公民館、幡屋リサイクルボックス、佐世交流センター、西阿用集会所下倉庫前、阿用交流センター、下久野リサイクルボックス、久野交流センター、海潮交流センター、須賀リサイクルボックス、塩田交流センター
加茂町	9月1日 第1日曜	自治会単位
木次町	9月15日 第3日曜	斐伊体育館東側ゲートボール場隣駐車場、西日登交流センター、温泉交流センター、日登交流センター、雲南市役所職員駐車場
三刀屋町	9月8日 第2日曜	三刀屋総合センター裏、一宮交流センター、飯石交流センター、鍋山交流センター、中野交流センター、根波生活改善センター

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

古着回収のお知らせ

市民環境生活課
☎0854-40-1033

大東町・加茂町・木次町・三刀屋町にお住まいの方の古着の回収を次のとおり行います。所定の時間に直接持込みをお願いします。

【回収場所】
雲南エネルギーセンター
(加茂町三代地内)

回収日	
9月8日(日)	1月12日(日)
10月13日(日)	2月9日(日)
11月10日(日)	3月9日(日)
12月8日(日)	

午前9時から11時30分
※引き取り料金は無料です。

【お願い】

- 古着は中身の見える透明な袋に入れて持込みをしてください。(ダンボールや紙袋は不可)
- 一袋の重さは10kg以内にしてください。
- ハンガーは必ず取り外してください。
- 場内では係員の誘導にしたがってください。
- リサイクルを目的とした古

「母子・寡婦福祉資金」予約貸付受付中

子育て支援課
☎0854-40-1044

母子及び寡婦福祉資金の予約貸付の申請を付けています。

◆対象となる方

- 平成26年4月の進学等を希望している方
- 児童を扶養する母子家庭の母
- 20歳以上の子を扶養する寡婦
- 父母のない児童
- 対象となる資金
児童の進学等を対象とする資金(※貸付はいずれも無利子です)

【修学資金】

高等学校、大学、高等専門学校または専修学校に就学するための授業料、書籍代、交通費などに必要な資金

【修業資金】

就職するために必要な知識技能を習得するために必要な資金

【就学支度資金】

就学、修業するために必要な入学金や被服などの購入資金

着の回収ですので、次のものは回収できません。

- 作業服・布団・座布団・下着・靴下・帽子・おしめ・破れた衣類・汚れのひどい衣類

【注意】

平日に持込みされる場合は、衣類でも有料になります。回収日は、古着以外の持込みはできません。吉田町・掛合町はこれまでどおり資源物の収集日に所定の場所へ出してください。

麻しん・風しん第2期の予防接種を受けましょう

健康推進課
☎0854-40-1045

麻しん・風しんの定期予防接種は、生後12月から24月までに1回、小学校就学前の1年間(幼稚園、保育所等の年長児)に1回、合計2回の接種が予防接種法で定められています。95%以上のお子さんはワクチン1回の接種で免疫を得ることができ、免疫がつき損ねた場合の用心と、年数がたつて免疫が下がってくることがを防ぐ目的で2回の接種が行われています。麻しん・風しん第2期の対象年齢の方でまだ接種を受け

母子家庭の母、寡婦の知識技能習得を対象とする資金(※連帯保証人を立てる場合は無利子、立てない場合は年1・5%)

【技能習得資金】

- 就職するために必要な知識技能を習得するために必要な資金
- ◆提出していただく書類等
必要な書類については、事前に相談してください。
- 貸付申請書 ※
- 戸籍及び住民票の写し
- 島根県税の納税証明書
- 前年の収入額が確認できる書類(児童扶養手当証書の写しの提出をもってかえることができます)

第31回 掛合町ふるさとまつり
駅伝 2013
全長2kmのコースを走りぬけ!!

【日時】10月13日(日) 開会式14:10~
【場所】掛合中学校グラウンド周辺
【出場資格】中学生以上の健康で体力に自信のある方(中学生のみによる出場チームは、保護者の承諾が必要です。)

【参加料】1チーム:4,000円(保険料込み)
【募集締切】9月11日(水) 必着
【問い合わせ・申込先】
掛合町ふるさとまつり実行委員会事務局
(掛合総合センター内 自治振興課)
☎0854-62-0300

出場者大募集!!

ていないお子さんは早めに接種を受けましょう。

【接種対象者】

平成19年4月2日~平成20年4月1日生まれ(小学校就学前の1年間)

【接種方法】

医療機関での個別接種

【接種費用】

無料

【接種期間】

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

「出雲神話検定」にチャレンジしてみませんか!

日本最古の歴史書として712年に献上された「古事記」は、2012年に編纂1300年を迎えました。古事記の記述には出雲系神話が約3分の1占められていると言われ、なかでも斐伊川流域にはヤマタノオロチ等に関する伝承地が数多く存在しています。

そこで、「出雲神話」に関係する地域の商工会が連携して「出雲神話検定」を実施します。出雲神話に関する事柄を学び、かつて当地に存在した豊かな文化を感じてみませんか。

【試験日時】11月17日(日) 10:00~11:00
【試験会場】三刀屋交流センター、雲州そば伝統産業会館、飯南町商工会館、斐川町商工会館
【申込締切】9月20日(金) 必着
【受験料】初級:1,000円、中級:2,000円、小中高生:500円
【教材・受験対策講習会】
日時 10月5日(土)、6日(日) いずれも13:30~16:30
場所 三刀屋交流センター
【申込方法】各商工会のホームページまたは窓口に設置してある募集チラシ裏面の「受験申込書」により申し込みください。
【主催】出雲神話検定実行委員会(奥出雲町・雲南市・飯南町・斐川町各商工会)

【問・申込先】雲南市商工会 ☎0854-45-2405 FAX.0854-45-2446

子育て支援課

☎0854-40-1044

島根県青少年家庭課母子福祉グループ

☎0852-2216688

6689

国民健康保険被保険者証の更新

市民環境生活課
☎0854-40-1031

10月1日に国民健康保険被保険者証(保険証)を更新します。新しい保険証は、世帯ごとに簡易書留郵便で9月中旬に発送する予定です。

保険証の色は、現在使っておられる保険証と同様で、一般被保険者分が「ふじ色」、退職被保険者分が「オレンジ色」です。

10月1日以降医療機関にかかるときはこの保険証をお使いください。

【注意】

次のいずれかに該当する方は市役所市民環境生活課または総合センターで手続きをしてください。
■既にほかの医療保険に加入しているが国保保険証が届いた
国民健康保険をやめる手続きが必要。(勤務先から

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

8月30日から『特別警報』の発表を開始します

気象庁はこれまで、大雨や津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。より甚だしい大雨や大きな津波等が予想され、重大な災害による危険性が高まっていることをお知らせし、特別な警戒を呼び掛けるために、新たに「特別警報」を発表します。

特別警報の対象とする現象には「東日本大震災」、我が国の観測史上最高の潮位を記録した「伊勢湾台風」の高潮、紀伊半島に甚大な被害をもたらした「平成23年台風第12号」の豪雨等が該当します。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。屋外の状況や、避難指示・勧告等に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

また、大雨等の被害を防ぐには、時間を追って発表される注意報、警報やその他の気象情報を活用して、早め早めの行動をとることがあなたや家族の命を守ります。

特別警報の詳細は、気象庁ホームページでご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/tokubetsu-keiho/index.html>

【問い合わせ先】

気象庁松江地方気象台防災業務課
☎0852-22-3784



特別警報

重大な災害が発生するおそれが著しく大きいときに発表

警報

重大な災害が発生するおそれがあるときに発表

注意報

災害が発生するおそれがあるときに発表

大
災害の危険性
小

【問】危機管理室 ☎0854-40-1027

「老人の日・老人週間」における県立施設の無料開放

老人の日及び老人週間の9月15日（日）から21日（土）までは、次の県立施設が65歳以上の方を対象に入館料が無料となります。

【対象者】年内に満65歳以上になる方（昭和23年12月31日以前に生まれた方）

【申請方法】入館受付の際に、対象者であることが確認できるもの（運転免許証、健康保険証など）を提示して年齢の確認を受け、手続きを行ってください。

【対象施設】

施設名	開館時間	電話	施設名	開館時間	電話
県立美術館	10:00～ 日没後30分まで	0852-55-4700	県立三瓶自然館 サヒメル	9:30～17:00	0854-86-0500
県立八雲立つ風土記の丘展示学習館	9:00～17:00	0852-23-2485	県立しまね海洋館 アクアス	9:00～17:00	0855-28-3900
県立古代出雲歴史博物館	9:00～18:00	0853-53-8600	県立石見美術館	10:00～18:30	0856-31-1860
県立宍道湖自然館 ゴビウス	9:30～17:00	0853-63-7100	花ふれあい公園 しまね花の郷	9:30～17:00	0853-20-1187

*詳しくは、各施設にお問い合わせください。なお、「しまね花の郷」以外の施設は、9月17日(火)が休館日です。

【問】長寿障がい福祉課 ☎0854-40-1042

いきいき運動川柳2013募集

身体教育医学研究所うんなんでは、今年も「いきいき運動川柳」の募集を行います。ユーモアや洒落、社会的風刺など5・7・5の17文字に織り交ぜた、運動や体を動かすことなどに関するユニークな川柳をお待ちしております。

2012年入選作品 「散歩歴 8年過ぎて 卒寿かな」

【応募資格】雲南市民の方ならどなたでも応募できます。（お1人様3首まで。4首以上応募の場合は無効。）

【応募方法】下記①～③の内容を川柳に添えて、FAX・メールまたはハガキにて応募先までお送りください。

①氏名（フリガナ） ②性別・年齢 ③連絡先（郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス）
※ご応募いただいた内容（個人情報）は、身体教育医学研究所うんなん以外の第三者に提供することはありません。

【応募締切】11月29日（金）…当日消印有効

【発表】平成26年3月（受賞者に直接通知いたします。）
ホームページ・市報などで公表予定。

【応募先・問い合わせ】〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋1212-3
身体教育医学研究所うんなん『運動川柳』募集係 ☎0854-45-0300
FAX0854-45-5266 メールアドレス：shintai@bs.kkm.ne.jp

交付された保険証と今回届いた国民健康保険被保険者証、印鑑が必要です。扶養認定されている方の保険証も必要です。
■離職等により勤務先へ保険証を返却し、現在医療保険に未加入

他の医療保険に加入できない場合は国民健康保険の加入手続きが必要です。（健康保険資格喪失証明書、印鑑が必要。）

津和野町では、総雨量が381ミリに達し、最大24時間降水量が観測史上1位となりました。人的被害や住家被害が発生し、災害救助法の適用を受けるなど生活再建等に支障が生じております。
このような状況に鑑み、義援金を募集する運びとなりましたので、ご支援ご協力をお願いいたします。

健康福祉総務課
☎0854-40-1041

島根県平成25年7月28日大雨災害義援金の募集

【受付期間】9月30日（月）まで
【受付方法】
◆窓口での受付
・島根県共同募金会
・日本赤十字社島根県支部
・NHK松江放送局
◆口座への振り込み
山陰合同銀行、島根県信用農業協同組合連合会、農業協同組合、ゆうちょ銀行からは、振込手数料は無料です。口座番号等は、各金融機関または、雲南市ホームページでご確認ください。

【問い合わせ】日本赤十字社島根県支部 総務課
☎0852-214237

島根県司法書士会及び公益社団法人成年後見センター・リーガルサポートしまね支部では、司法書士による「高齢者・障がい者のための成年後見相談会」を次のとおり開催します。
この相談会では、ご本人はもちろん、ご親族や養護者の方々の不安やご相談にお応えします。

島根県司法書士会
☎0852-241402

【日時】9月16日（月）
午後1時～午後4時
【場所】ステイックビル5階502研修室（松江市白濁本町43）
【相談料】無料
【予約】☎0120-114-234
（平日午後0時30分～午後3時30分）
【相談例】
●ひとり暮らしの今後が不安。
●遺産分割協議をしたいけれど、相続人の一人が認知症でできない。
●知的障がいを持つ子どもの将来が心配。
●母の年金が勝手に使われているみたい。どうしよう…。

広 告 枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

たたらの里山再生雇用創造推進協議会 セミナー日程

詳しくは、たたらの里山再生雇用創造推進協議会ホームページもしくは、雲南市役所産業振興部及びハローワーク雲南にチラシがありますので、ご覧ください。

～主に求職中の皆さんを対象とするプログラム～

付加価値の高い食産業の担い手養成講座

地域で生産される農産物の魅力を知り、それらを活かすことができる人材を育成することを目的に、季節の野菜をもちいた料理実習を実施します。

- 講師：庄司いずみさん（野菜料理家）
- 日時：9月9日（月）11：00～14：00
- 場所：かもてらす研修室・栄養指導室

～主に企業の皆さんを対象とするプログラム～

旅行商品の開発を担う中核的人材育成講座

雲南市内の観光資源等を活用した新たな旅行プログラムを開発するためのワークショップを実施します。参加者同士の意見交換、専門家の指導により、魅力的な旅行商品を開発するために必要な視点等を学びます。

ツアープログラム検討会③

- 日時：9月5日（木）18：00～20：00
- 場所：たたらの里山再生雇用創造推進協議会

食の魅力を活かす特産品開発講座「うんなん出座飲塾」

全7回の講座を通じて、雲南市内で生産される農産加工品・食品の特徴や魅力を引き出し、消費者に効果的に伝えるための手法を学び、また、その実践としての具体的なPRツールを開発します。

自社が取り扱う商品やサービスを用いて、特徴や魅力を効果的に伝えるためのデザインやコピーの作成演習を実施します。

- 講師：山内敏功さん（ピンデザインオフィス）
- 日時：9月19日（木）14：00～16：30
- 場所：たたらの里山再生雇用創造推進協議会

【問い合わせ先】たたらの里山再生雇用創造推進協議会（略称：雲南市雇用創造協議会）
 雲南市加茂町南加茂1204-1 ☎0854-49-6610 FAX0854-49-6642
 協議会ホームページhttp://tatara-job.jp/
 市役所 産業推進課 ☎0854-40-1052

◆電子申請
 「島根あいてい達者」知事表彰 ホームページ内、応募方法「しまね電子申請サービス」をクリック
 【応募〆切】
 9月30日（月）消印有効

◆メール送信
 infosys@pref.shimane.lg.jp
 ◆郵送
 〒690-8501 松江市殿町1番地 島根県地域振興部情報政策課「島根あいてい達者」係

◆応募方法
 ●特産品などをインターネットを活用して紹介・販売しています。
 ●ホームページで地元の風景や伝統芸能を情報発信しています。
 ●その他、ITを活用して地域での交流や地域振興などに関わっています。

◆お問い合わせ先
 の方々を中心に組織されたグループから知事表彰者を選考します。
 このような方々をお待ちしております。
 ●特産品などをインターネットを活用して紹介・販売しています。
 ●ホームページで地元の風景や伝統芸能を情報発信しています。
 ●その他、ITを活用して地域での交流や地域振興などに関わっています。



JICA中国国際センター
 ☎08214216305
 JICAでは、青年海外協力隊及びシニア海外ボランティアを募集します。

また、「体験談&相談会」を開催しますので、お気軽にご参加ください。
 ◆青年海外協力隊
 【募集期間】
 10月1日（火）～11月5日（火）消印有効
 【応募資格】
 満20歳～満39歳の日本国籍を持つ方

【募集分野】
 計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9分野
 【派遣国】
 アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東地域の約70か国
 【派遣期間】
 1年間以上
 ◆体験談&相談会
 ・青年海外協力隊
 【日時】
 9月28日（土）午後3時～
 【場所】
 松江テルサ4階研修室1
 ・シニア海外ボランティア

9月の税金

納期限は9月30日月

- ・国民健康保険料(第3期)
- ・後期高齢者医療保険料(第3期)

源、保健・医療、社会福祉の9分野、約120職種
 【派遣国】
 アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東地域の約70か国
 【派遣期間】
 原則2年間
 ◆シニア海外ボランティア
 【募集期間】
 10月1日（火）～11月5日（火）消印有効
 【応募資格】
 満40歳～満69歳の日本国籍を持つ方

【募集分野】
 計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9分野
 【派遣国】
 アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中近東地域の約60か国
 【派遣期間】
 1年間以上
 ◆体験談&相談会
 ・青年海外協力隊
 【日時】
 9月28日（土）午後3時～
 【場所】
 松江テルサ4階研修室1
 ・シニア海外ボランティア

この調査は、全国350万世帯の方を対象にした大規模な調査で、調査の結果は、国や地方公共団体における「住生活基本計画」の制定などに幅広く利用されています。
 9月中旬から調査員が調査世帯（抽出された世帯）に伺いますので、調査の趣旨をご

【日時】
 9月28日（土）午後1時～
 【場所】
 松江テルサ5階研修室1

平成25年住宅・土地統計調査を実施します

情報政策課
 ☎0854-40-1015

総務省統計局（島根県・雲南市）では、10月1日現在で住宅・土地統計調査を実施します。

うんなん家庭の日

毎月第3日曜日は「うんなん家庭の日」です

9/15

社会教育課 ☎0854-40-1073

司法書士無料法律相談

島根県司法書士会
 ☎0852-24-1402

島根県司法書士会では、司法書士による遺産相続、不動産の売買、ローンの返済、悪質商法、裁判、調停、成年後見等高齢者の財産管理などさまざまな法律相談・登記相談を次のとおり行います。
 ◆松江会場
 【日時】
 9月21日（土）午後1時～午後5時
 【会場】
 島根県司法書士会館
 ◆出雲会場
 【日時】
 9月21日（土）午後1時～午後5時
 【会場】
 今市コミュニティセンター
 法テラス島根
 ☎050-3383-5500

法テラス島根
 回法律相談

法テラス島根の常勤弁護士が巡回法律相談（予約制）を行います。

【日時】
 9月6日（金）午後1時30分～午後3時45分
 【場所】
 雲南市社会福祉協議会
 【予約受付】
 法テラス島根
 ☎050-3383-5500
 月～金 午前9時～午後5時
 ※民事法律扶助相談のため、収入・資産が一定基準以下の方が対象となりますので、ご予約の際に確認させていただきます。

島根あいてい達者知事表彰候補者募集

島根県情報政策課
 ☎0852-225700

島根県では、パソコンやインターネットなどの「あいてい」(IT: 情報通信技術)の活用熱心に取り組まれている高齢者の方の知事表彰制度を設けています。
 「あいてい達者」の方は、是非ご応募ください。自薦・他薦は問いません。
 【表彰の対象者】
 パソコン・インターネットなどのITの活用熱心に取り組まれている県内在住の65歳以上の方、または、これら

幸雲南塾2013～地域プロデューサー育成講座～
第4回「マイプランを鍛える」
 ～プラン・アクションを起こそう～

9月7日(土) 13:30～17:30

旧民谷分校

【講師】 花・野菜の産直市「くるみ市」
 店長 かねつみ たつや 鐘推 達也さん (出雲市)

【問】 政策推進課 ☎0854-40-1011

しまね19市町村リレートーク【雲南市会場】

9月7日(土) 13:30～16:00

加茂文化ホールラメール

神話を活用した観光地づくり
 ～ヤマタノオロチ伝承地から～
 出雲神話を切り口にグルメや芸術・芸能など、
 幅広い観点から、観光地としての発展策を探ります。

【講師】 (株)タウクライヤー しま けいすけ
 代表取締役 嶋 啓祐さん

【参加費】 無料

【申込・問合せ】 商工観光課 ☎0854-40-1054

第23回 永井隆平和賞発表式典

9月8日(日) 13:00～

三刀屋文化体育館アスパル

最優秀賞受賞者による朗読や、シンガーソング
 ライター おかある星野らぶれ～すさんのコンサ
 ートを行います。

雲南市から発信する平和と愛のメッセージを聞
 きに、ぜひご来場ください。

【問】 社会教育課 ☎0854-40-1073

しまね人権フェスティバル2013

9月16日(月・祝) 9:30～15:30

加茂文化ホールラメール

三刀屋高校演劇部演劇上演、はまだまりこ 浜田真理子さんや
しらつきじゆん 白築 純さんのトーク&ライブなど

【入場料】 無料

【同時開催】 人権・同和問題を考える県民のつどい
とがわまさあき 外川正明さん (鳥取環境大学教授) による講演
 「同和教育が大切にしてきたこと」が行われます。

【問】 雲南市人権センター ☎0854-42-1767

熱響UNNAN
 ～まちじゅうからクラシックがあふれだす!!～
プレミアムコンサート
「LEGEND—至高の調べ—」

9月23日(月・祝) 開場13:30 開演14:00

加茂文化ホールラメール

【入場料】 【全席指定・前売】
 一般：3,000円
 高校生以下：1,500円 (当日各500円増)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 ※本公演は宝くじの助成を受けて実施しています。

【問】 加茂文化ホール ラメール
 ☎0854-49-8500

だんぼの学校 ～稲刈りコース～

参加者
募集

9月29日(日) 8:30(受付開始)～12:00

雲南市大東町山王寺地内

日本の棚田百選に選ばれた「山王寺の棚田」で
 は、田んぼを学びと遊びの場に活用しています。
 ご家族皆さんで農業体験をしてみませんか！

【定員】 30家族程度 (定員になり次第締切ります)

【参加費】 大人1,000円/人 (子供無料)

【申込・問合せ】 農林土木課
 (☎0854-40-1053 FAX0854-40-1068)

宝くじ文化公演
 くどうしげり
「工藤重典率いる木管名手たちの饗宴」

9月29日(日) 開場13:30 開演14:00

加茂文化ホールラメール

【入場料】 【全席指定・前売】
 一般：1,500円
 高校生以下：1,000円 (当日各500円増)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 ※宝くじの助成により、特別料金となっています。

【問】 加茂文化ホール ラメール ☎0854-49-8500

●市報うんなん No. 106 2013年 9月発行

発行・編集/雲南市役所 政策企画部 情報政策課

〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1 ☎ 0854-40-1015 FAX 0854-40-1019

✉ unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

👤 人口・41,761人 (-56)

♂ 男性・19,997人 (-29)

♀ 女性・21,764人 (-27)

🏠 世帯数・13,816世帯 (-9)

平成25年8月1日現在 (先月比)